

地球惑星科学委員会国際対応分科会 IAVCEI 小委員会(第 20 期・第 1 回)
議事録(案)

1. 日時 平成 19 年 5 月 21 日 (火) 12 : 40 ~ 13 : 10
2. 会場 幕張メッセ国際会議場 101B 室
3. 出席者 : (順不同、敬称略)
藤井敏嗣 (東大地震研)・中田節也 (東大地震研)・鍵山恒臣 (京大防災研)・清水 洋
(九大理)・高橋正樹 (日大文理)・鶴川元雄 (防災科研)・藤田英輔 (防災科研) 計
7 名 (欠席 ; 石原和弘)
4. 配布資料
資料 日本学術会議 地球惑星科学委員会 国際対応分科会 IUGG 小委員会第 20
期・第 1 回会合 議事要旨 (案)
資料 日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球惑星科学推進分科会第 20 期・第 1 回
会合議事録 (案)
資料 日本学術会議第三部 分野別委員会の組織と活動ファイル
資料 IUGG Yearbook January 2007
資料 日本地球惑星科学連合国際委員会 議事メモ
資料 日本学術会議の国際学術会議交流事業について

5. 議事概要

* 議事に先立ち、中田委員より、資料を基に、地球惑星科学委員会や関連分科会等に関して、これまでの経緯説明があった。

(1) 役員を選出について

本委員会の委員長の互選が行われ、委員長を中田委員、幹事を藤田委員とすることです承が得られた。

(2) 今後の活動内容について

・中田委員長より IUGG に提出する National Report の IAVCEI 分について、資料により報告がなされた。既に提出済。

・藤田幹事より、5 月 20 日に開催された日本地球惑星科学連合国際委員会の報告があった。新体制は、加藤照之委員長 (日本測地学会)、公文富士夫副委員長 (日本地球質学会)、藤田英輔副委員長 (日本火山学会) となった。今後、日本学術会議の地球惑星科学関係の国際対応小委員会代表を集めた、幹事組織の設置が検討されている。また、国際地学オリンピックに対し、各学会へ協力要請がある。

・中田委員長より「火山噴火予知シンポジウム (5 月 29 ~ 30 日)」の開催について紹介された。火山学会の ML 等を使い、さらに宣伝をすることを確認した。

・従来の固体地球物理学研連火山専門委員会の機能である、国際対応・火山噴火予知研究・火山学研究の推進について、今後どのような体制で行うかについての議論がされた。国際対応は本小委員会のミッションとするが、火山噴火予知研究の推進は、地震・火山噴火予知研究協議会の今後の体制（現在は大学関係のみ、今後は大学以外も加えるか等）も考慮しつつ、当分は、全般的な火山学研究の推進とともに火山学会において行うことが望ましい。また、本小委員会は火山学会の国際委員会と密接に連携して活動することが確認された。

・中田委員長より IAVCEI の役員選挙の投票締切が 6 月 9 日であり、メンバーの人は投票をするようにとの連絡があった。

(3) その他

今年の IAVCEI 関連の国際集会としては、ペルーの IUGG(7月)と島原の Cities on Volcanoes (11月)がある。